

路上の詩シリーズⅡ

野村正則

Poems of the Street (Ⅱ)

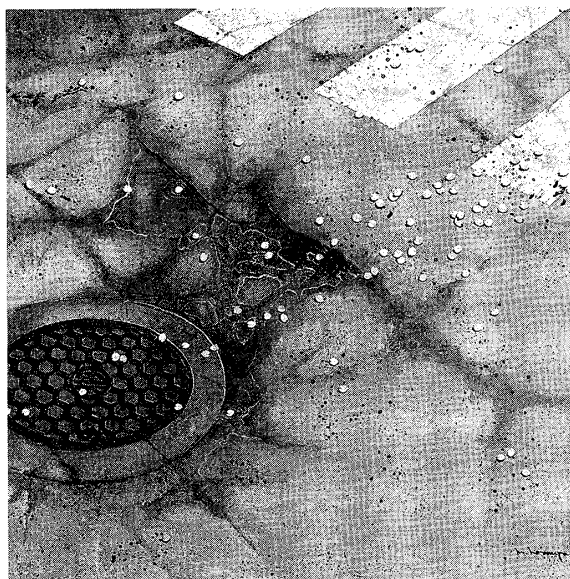
Masanori NOMURA

「路上の詩シリーズ」は、1995（平成7）年4月・第72回春陽展に出品した「路上の詩・ガラス」以来、私の作品のテーマとなっている。

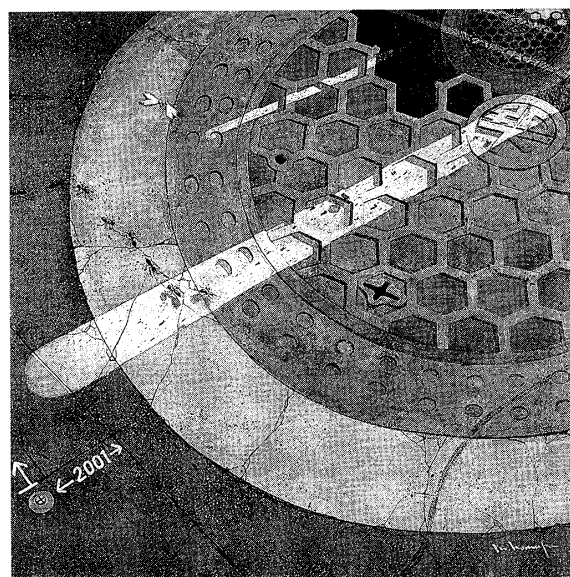
昨2007年、「路上の詩シリーズ」をテーマにして10年を経過したのを機に自作を振り返り、2001年1月までの主な発表作品21点を紀要26号に掲載した。

「路上の詩シリーズ」では、日常生活の中で、目に触れるごく当たり前の路上の光景をモチーフに、横断歩道の直線・マンホールやガス栓の円形等がつくりだす幾何形態に、生命の象徴としてのカタバミ・蟻・テントウ虫、それに相対する象徴としての蛾やセミ・小石やガラス破片・流木などを組み合わせて描いている。モチーフの光と影がつくりだす明暗の階調に、現代社会のエゴイズムが生み出す戦争や環境破壊など様々な危うい影をオーバーラップさせた表現を試みている。

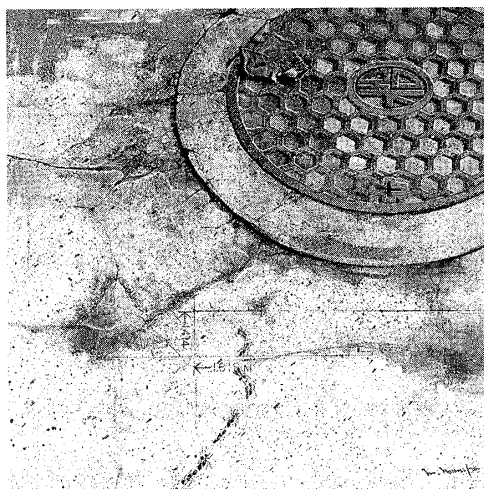
今回は、26号に引き続き2001年1月以降の「路上の詩シリーズ」の作品から、主な発表作品16点に掲載する。



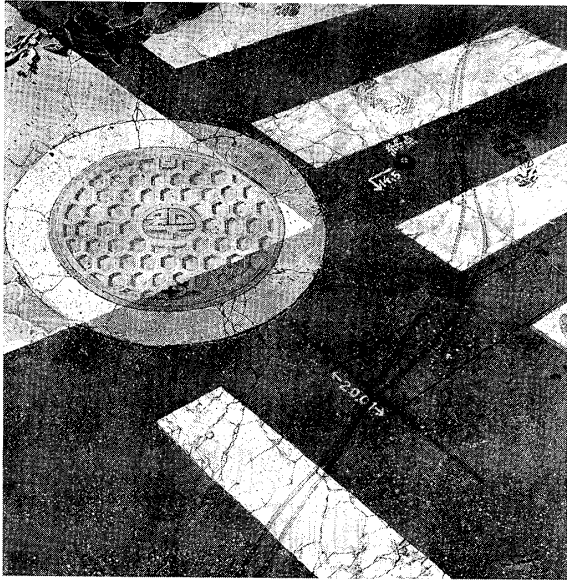
22, 「路上の詩・雨上がり」
パネル画布張り・アクリル顔料
S100号 (162×162cm)
第77回春陽展〈奨励賞受賞〉
東京都美術館・2000年4月
愛知県立美術館・2000年5月
大阪市立美術館・2000年6月



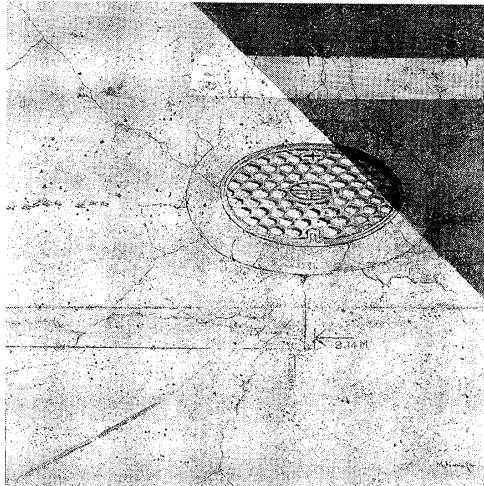
23, 「路上の詩・2001」
パネル画布張り・アクリル顔料
S100号 (162×162cm)
第10回記念「英」展*8
田川市美術館・2000年6月



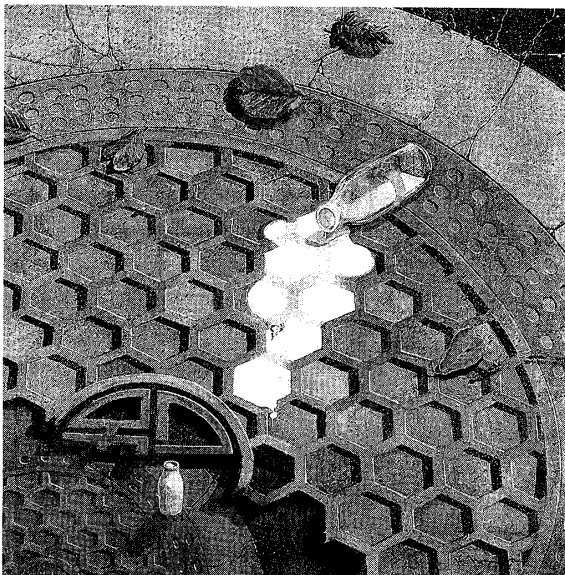
24, 「路上の詩・雨後」
パネル画布張り・アクリル顔料
S50号 (116×116cm)
第36回大分県美術展〈美術協会賞受賞〉
大分県立芸術会館・2000年11月



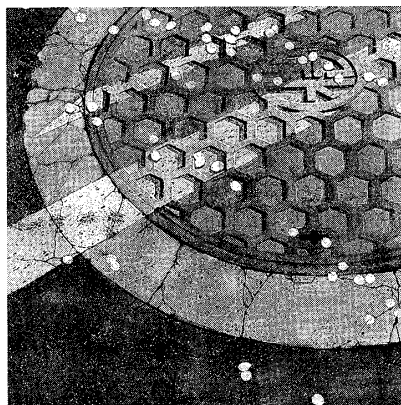
25, 「路上の詩・吹きだまり」
パネル画布張り・アクリル顔料
S100号 (162×162cm)
第10回青木繁記念大賞公募展
久留米市立石橋美術館・2001年2月
郡山市立美術館・2001年6月



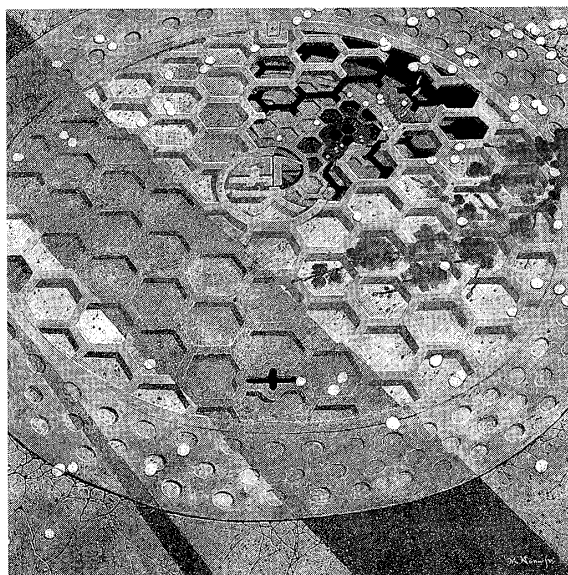
26, 「路上の詩・切断」
パネル画布張り・アクリル顔料
S80号 (145×145cm)
第8回別府現代絵画展
別府市美術館・2001年3月



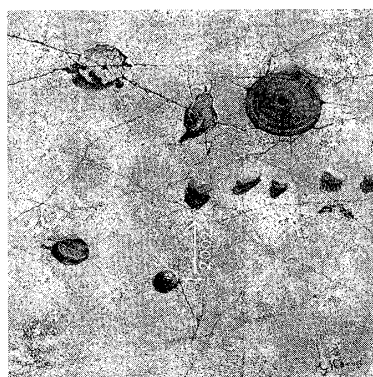
27, 「路上の詩・こぼれたミルクは…」
パネル画布張り・アクリル顔料
S100号 (162×162cm)
第78回春陽展〈会員推挙〉
東京都美術館・2001年4月
愛知県立美術館・2001年5月
大阪市立美術館・2001年6月



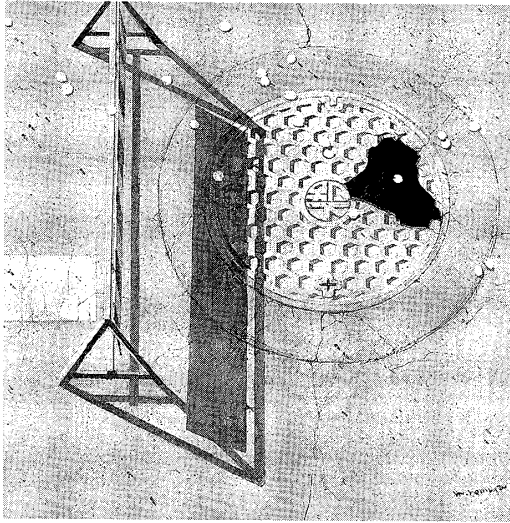
28, 「路上の詩・2001夏」
パネル画布張り・アクリル顔料
S30号 (91×91cm)
サロン・ナシオナル2001展* 9
カルーセル・ドゥ・ルーブル (パリ)
・2001年6月



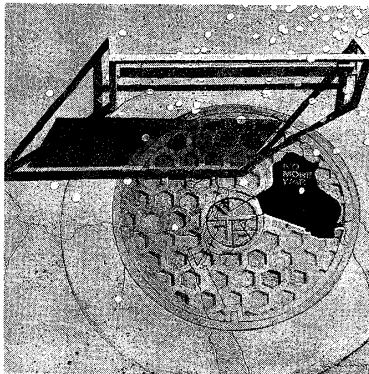
29, 「路上の詩・陽光」
パネル画布張り・アクリル顔料
S100号 (162×162cm)
第79回春陽展
東京都美術館・2002年4月
愛知県立美術館・2002年5月
大阪市立美術館・2002年6月



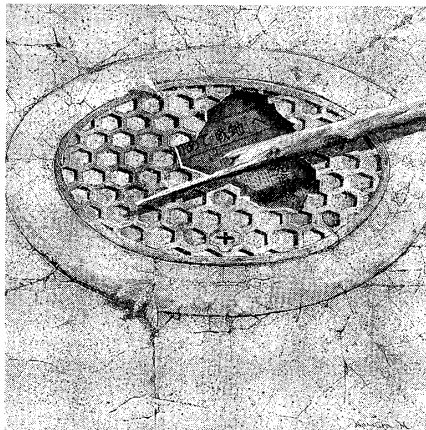
30, 「路上の詩・2002」
パネル画布張り・アクリル顔料・コーヒー豆
S20号 (72×72cm)
サロン・ナシオナル2002展
カルーセル・ドゥ・ルーブル (パリ)・2002
年12月



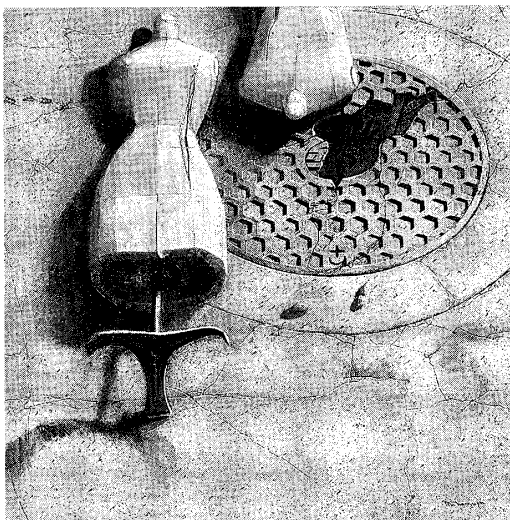
31, 「路上の詩・2003春」
パネル画布張り・アクリル顔料
S80号 (145×145cm)
第80回春陽展
東京都美術館・2003年4月
愛知県立美術館・2003年5月
大阪市立美術館・2003年6月



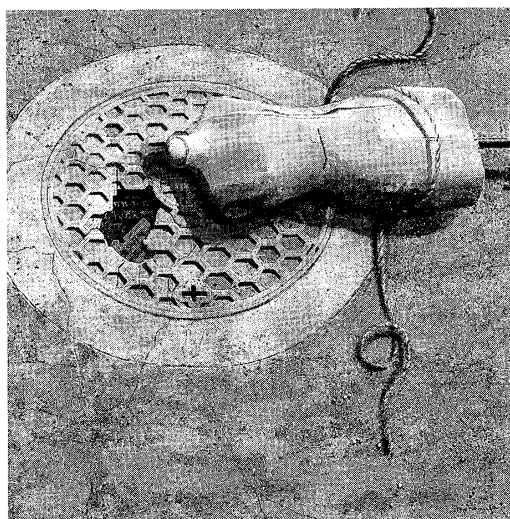
32, 「路上の詩・2003」
パネル画布張り・アクリル顔料
S20号 (72×72cm)
サロン・ナシオナル2003展
カルーセル・ドゥ・ルーブル (パリ)
2003年12月



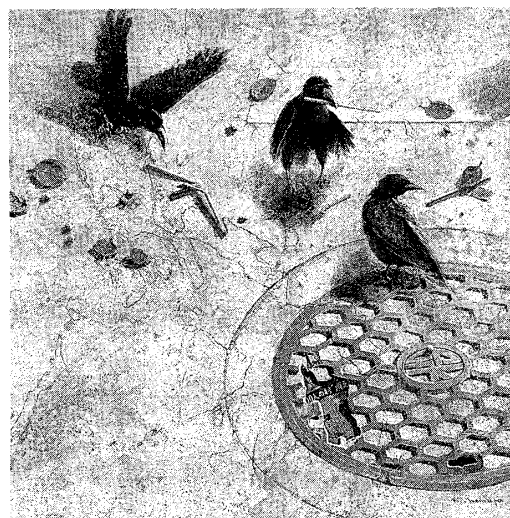
33, 「路上の詩・流木」
パネル画布張り・アクリル顔料
S30号 (91×91cm)
別府大学芸術文化学科30周年記念展*10
大分県立芸術会館・2004年2月



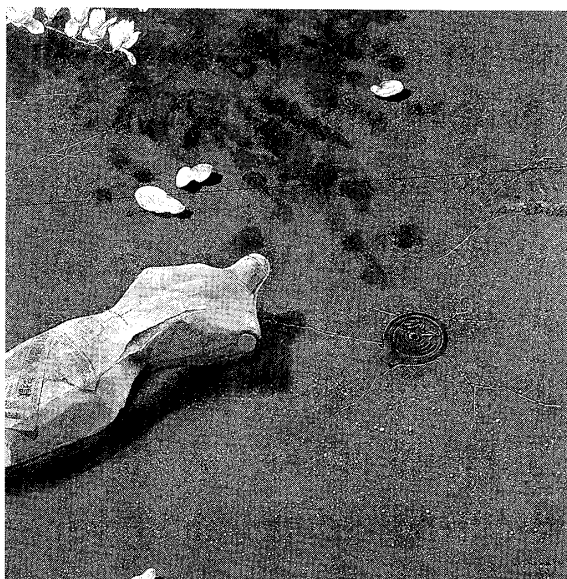
34, 「路上の詩・マヌカン」
パネル画布張り・アクリル顔料
S80号 (145×145cm)
第81回春陽展
東京都美術館・2004年4月
愛知県立美術館・2004年5月
大阪市立美術館・2004年6月



35, 「路上の詩・スーダン」
パネル画布張り・アクリル顔料
S80号 (145×145cm)
第82回春陽展
東京都美術館・2005年4月
愛知県立美術館・2005年5月
大阪市立美術館・2005年6月



36, 「路上の詩・割り箸」
パネル画布張り・アクリル顔料・コーヒー粉
S80号 (145×145cm)
第83回春陽展
東京都美術館・2006年4月
愛知県立美術館・2006年5月
大阪市立美術館・2006年6月



37, 「路上の詩・ハクレン」

パネル画布張り・アクリル顔料・コーヒー粉
S100号 (162×162cm)

第84回春陽展

国立新美術館・2007年4月

愛知県立美術館・2007年5月

大阪市立美術館・2007年6月

—注釈— (主な出品展覧会について)

* 8 【第10回記念「英」展】

「英」展は、田川市美術館が、収蔵作品の選定のため、九州（沖縄をのぞく）山口の各県の選定委員が推薦した招待作家による企画展であり、本人は第7回展に招待出品し、大賞を受賞している。

10回記念「英」展は、1～9回展で受賞した作家を再度招待作家として加えた60点を展示し、収蔵作品の選定をした企画展である。

* 9 【サロン・ナシオナル2001展】

サロン・ナシオナル展は、1890年シャバンヌ、カリエール等によって設立されたフランスで最も歴史の古い公募展の一つである。2001展は、全世界から約500点（日本26点）が展示され、オープニングレセプションには日本大使等も出席した。2001・2002・2003年と別府大学の教員を中心とした大分県内作家のコーナーが設営され、出品した。フランス パリ市カルーセル・ドゥ・ルーブル。

* 10 【別府大学芸術文化学科30周年記念展】

1973年別府大学文学部に美学美術史学科が誕

生してから30年を経過した。美学美術史学科は2000年芸術文化学科と名称を変更したが、学科開設30周年の記念事業の1つとして企画された展覧会である。本人も以前美学美術史学科の授業を担当していた関係で出品した。